

学校番号	16	学校名	静岡県立三島北高等学校 (定時制)	校長名	鈴木 まき子
------	----	-----	----------------------	-----	--------

1 今年度の重点目標（学校経営目標）への取組と評価

(1) 基礎学力の定着を図る。

ア 各教科において、中学校までの学習内容を含めた授業内容に取組み、基礎学力の定着に努めた。また、生徒に興味・関心を持たせるため、視聴覚機器を用いるなどの授業改善を行った。

イ 閉課程に伴い、生徒数が減少し、生徒一人一人に今まで以上に教員の目が行き届くようになり、きめ細かな指導ができるようになったが、反面、それに対応しきれない生徒もでてしまった。

(2) 職業理解の推進と生きる力の向上を目指す。

ア 進路に関することを校内研修に掲げた2年目の本年度は、実践的な講演を中心に実施した。

生徒は就職に対して強い意識をもっており、真摯に講演を聞き、主体的に就職活動に取組んだ。その結果、就職率86.4%という数字に表れた。また、就職活動をとおして、生徒が他人を思いやる気持ちが芽生え始め、人間としての成長も見られた。

イ 22年度から学校設定科目として「情報演習」（選択必修）を設け積極的に資格取得を促した。生徒は資格取得に向けて積極的に授業に取組み、その結果、選択者全員が情報処理技能検定と日本語ワープロ検定を受験し、合格率は81.8%であった。

(3) 基本的な生活習慣を確立する。

ア 毎月、職員会議でHR担任が生徒の状況を報告し、指導内容について全教職員の意思統一を図り、生徒に対応するように心がけた。

イ 全体の約35%（11人/31人）が1年間皆勤で登校したにもかかわらず、特定生徒の欠席が目立ち、昨年度より出席率が低下した。

出席率 89.1%（昨年度 89.4%）、遅刻率6.1%（昨年度7.4%）、早退率0.8%（昨年度 1.4%）

ウ 食生活が不規則な生徒が多いため、保健だより（月1回発行）、食育だより（学期1回発行）をとおして食生活の重要性を発信してきた。また、毎日の給食の喫食数も気にかけてきた。（朝食摂取率が45.2%（昨年度44.4%）、給食喫食率 78.6%（昨年度 79.9%））

(4) 規範意識を高め、社会性の向上を目指す。

ア 校内巡視及び下校指導を当番制で行い、生徒に問題行動がないように努めた。

イ 進路指導をとおし、社会人になることを意識させることで、ルールの遵守あるいは集団の中の自分の立場を念頭に置きながら行動する状況が見られるようになった。

(5) 人間関係力を向上し、自立心の育成を目指す。

ア 生徒会活動、ホームルーム活動の内容を工夫し、全員が積極的に参加できるように取組んだ。集団の一員としての自覚を促し、人間関係の中で自己の確立を目指すことに努めた。

イ 修学旅行及び就職活動の成功を大きな目標に掲げ、教員の研修あるいは生徒への事前指導を重ねてきた。結果、満足のいく成果があった。特に、他人を思いやる心、協力して物事に取組む姿勢そして自立を目指し積極的に取組む姿勢を培うことができたことは、大変有益であった。

2 次年度以降の課題と対応策

平成 22 年度末で閉課のため記載なし